

「感染の再拡大防止に向けて（道案）」等に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

1-①

対策を長期間継続すると効果が薄れる。短期集中での対策を打つことはやむをえない。部活動等の活動への制約はやむをえない。学習の機会を守ることを優先するべき。

1-②

札幌市内での感染拡大を踏まえ、飲食店等での時短要請など感染防止対策を強化することについては理解する。

なお、道民の方々に対して更なる行動変容を求める際には、「感染リスクが回避できない場合」といった例外をなくすだけでなく、より丁寧な説明で感染対策の強化について理解を求めることが大切であると考え。

また、医療提供体制の逼迫が懸念される札幌市での感染拡大の状況を踏まえると、「まん延防止重点措置」の適用を国に求めることも検討すべきと考える。

1-③

主な指標の状況を見ても、協力要請やゴールデンウィーク特別対策などの取組が必要と考える。大阪や東京のように人の流れが減らない状況を見ると、感染力の強い変異種の感染拡大を抑えることが急務と考える。そのため、今回の案に異論なし。

1-④

対策については致し方ない。

1-⑤

対策については良いと思う。不要不急の具体例も示しており、分かりやすい。

1-⑥

北海道の対策には異論はない。

札幌市からも広域搬送が行われるなど、市内の医療提供体制は極めて厳しい状況にあり、病院としては最大限の努力をしているが、行政は、こうした現状を、市民や、道民に、正確に伝えるべきと考える。

1-⑦

異論はない。

医療供給体制のひっ迫状況をもう少し市民に説明してほしい。

また、このままでは大変なことになるので、先手を打って協力を求めていることも付け加えていただきたい。今年の今頃は、札幌市内の老健施設のクラスターが全国に衝撃を与えた。二度と同じことにならないように頑張りましょう。

1-⑧

不要不急の「外出」と「往来」については、道民にわかりやすくアナウンスして欲しい。

札幌市内の飲食店ではクラスターが発生していない。人と人との接触機会を減らす意味で時短要請は理解できるが、飲食店だけが悪者にならないよう丁寧に説明、アナウンスするべき。

一段強い対策を行うのなら、部活動の休止要請について学校側に判断の余地を残すのは妥当なのか。学校長が必要性を判断するのは難しいのでは。また、児童生徒が集まる学習塾等への呼びかけも必要と考える。

ゴールデンウィークは子ども向けのイベント等も多く、人が集まりやすいため、感染防止対策の徹底などの注意喚起が必要。感染拡大防止のためには、イベントの制限なども有効と考える。

感染が急拡大するような場合には、「まん延防止等重点措置」の国への要請も検討するべき。

1-⑨

現在は感染拡大の入り口であり、ここでの対策強化がピークの大きさに影響すると考える。感染経路不明者の割合が増え、変異株の陽性率も急激に上がっている状況から考えると相当市中に広まっているだろうし、今までの対策だけでは押さえられないと考える。早い段階で強力な対策をお願いしたい。

1-⑩

特に異論はないが、対策をしっかりと実行していただきたい。

2 市町村・関係団体の意見

2-①

特別対策として実施する時短要請などは必要と認識。

ただし、重要なのは特別対策だということを道民、市民、事業者とにかくに認識させて取組を徹底させることができるかであり、伝える方法に工夫が必要と思う。

また、札幌の感染者の増加傾向を考慮すると、近々にまん延防止等重点措置の適用を国に申請せざるを得ない状況も想定されるところ。感染対策などを徹底させていくためには、まん延防止等重点措置の適用は、道民等の受け止めもインパクトがあり、危機意識も高まり、取り組むことによる効果は高いと思えるので、国への申請のタイミングが遅れることがないよう留意願いたい。

感染が広がっている他県では、そのタイミングが遅れたように見えるので、北海道では、まん延を未然に防止できるタイミングで手を打ってほしい。

2-②

札幌市の感染者数が全道の中でも突出して増加し、且つ変異株における感染者数が増えている中、早期に札幌市内での感染を抑え込み札幌市以外の地域への感染拡大を防ぐためには「札幌市内の飲食店への時短要請」を含めた5月11日までの「札幌市へのゴールデンウィーク特別対策」は適切な措置である。

知事においては、札幌市長と連携の上、札幌市民をはじめとする道民や事業者が今一度感染防止に対する緊張感を高め、感染防止対策の徹底に前向きに取り組んでいただけるような強いメッセージの発信をお願いしたい。

特に変異株による感染の特性やリスクなどについて、札幌市民をはじめとする道民や事業者が理解し行動に移せるよう広報活動の強化を図っていただきたい。

またゴールデンウィークを迎える中、「緊急事態宣言の対象となる地域」「まん延防止等重点措置の対象となる地域」、「外出自粛などの行動制限が要請されている地域」との「不要不急の往来自粛要請」についても、対象都府県名とともに道民に今一度周知徹底していただき、感染が拡大傾向にある他都府県との移動によって北海道の感染が拡大するリスクを抑制していただきたい。

市町村のワクチン接種に対して万全の支援を行っていただき、情報提供を含めて可能な限り迅速に接種が行き渡るようお願いしたい。

すすきの地区の飲食店をはじめ札幌市内の飲食店は2月末まで時短要請が課せられ、これまで長期に渡る影響を受けている。今回の時短要請の実効性を上げるためにも、要請にあたっては、支援金の支給など万全の支援をお願いするとともに、飲食店の取引先等についても、道特別支援金などによる支援をお願いしたい。

当会としても引き続き、会員企業に対して、従業員やその家族を含めた感染防止対策の徹底、テレワークの推進や導入支援策時差出勤などについて一層の周知・要請を行っていく。

2-③

人の移動が活発化するゴールデンウィークに向けて、特別対策を実施することは必要だが、特別対策である以上、飲食店等では感染防止対策を、道民（市民）は会食時を含めマスク着用を義務とすることを知事が発信することや、事業者に要請するテレワークや時差出勤については、数値目標などを設定し取組を進めるなど、これまでの以上の効果的な対策を講じ、この期間に感染拡大の流れを止める覚悟を示すことが必要と考える。

また、協力金など必要な支援を行うこと。

2-④

資料「感染の再拡大防止に向けて（道案）」において、P4 及び P6 の公共施設に関する記載内容について、「札幌市の公共施設」となっているが、札幌市内には道立の公共施設もあることから「札幌市内の公共施設」とすべきと考える

2-⑤

4 ページ【学校への要請】について、

「部活動について、学校が必要と判断する場合」の中に、練習試合を含めていただくよう配慮願いたい。

23日（金）に決定し、24日（土）から対応するのは、周知や準備が難しい点があることから、週明けからとしていただきたい。